

第54回北海道高等学校登山大会講評

2015 6.29

審査委員長 帯広柏葉高校 二瓶伸一

1 全体を通して

男子14、女子11パーティーの参加は、過去10年でみると最も多いものとなりました。選手たちは登山中だけでなく、キャンプ場、開閉式会場を含め、大変良く動き、全体的に素晴らしい大会になったと思います。

2 審査項目別講評

①体力

男子は比較的早いペースで歩きましたが、上位のパーティーは甲乙つけがたく大きな差はでませんでした。女子にとって、2日目の羊蹄山はハードなコースでしたが、すべてのパーティーが歩ききったことは大変評価できると思います。

②歩行

男女ともに、下りの歩行技術で差が出ました。いかに膝を上手く使いリズム良く歩くことができるか。これは教わることも大切ですが、山行を重ねることによって自然と身につくものです。顧問の先生にたくさん良い山に連れて行ってもらってください。

③装備

共同装備のツェルト、修理用具、湯沸かし道具(コンロ、燃料、金属食器)は毎回のように出されています。医薬品については、期限切れ(または明記されていない)に注意してください。個人装備については、ほとんどそろっていましたが、ヘッドランプの絶縁がされていないところがありました。

チェック品目はすべて『採点基準確認事項』の「◎装備チェック品目」から出されています。今一度確認しておいてください。

④設営・撤収

減点が多かったのは「ペグ」と「張り綱」関係です。特にペグの打ち込みすぎ・不足や不揃い、張り綱の強弱がチェックされています。フライのたるみやしわにも注意してください。他に設営中の軍手(ペグを打つときにはめる)や、ザックの雨蓋(を閉める)がまだ徹底されていません。また、登山出発後の点検では生ゴミをテント本体とフライの間においてあったパーティーがあったそうです。

⑤炊事

おおむね良好でしたが、コンロを不安定なまま使用しないでください。

⑥気象

全体的に等圧線の描き方が難しかったのですが、もう少し等圧線にメリハリをつけて描けるように練習して下さい。気温や気圧など基本的な書き込みについてはおおむね良好でした。

⑦計画・記録

計画書については、今年からB4版2枚から3枚に変更になりました。

全体的にもっと見やすくできるのではないかと指摘がありました。細かなところでは食糧計画がおおざっぱすぎる箇所がありました。具体的には「昼食各自」では食糧計画とはいえないし、「パン4人分」とははたしてパン何枚なのか、その分量がわかりません。サブザック行動の装備がはっきりしないものがありました。

記録書については、『採点基準』に携行しやすいものとあります。ちょっと大きすぎるのではないかと思うものがありました。休憩時だけでなく、分岐などのポイントとなる地点の通過時間も記録して下さい。羊蹄山の下りでは下草を刈っていました(多くの人の力があって登山道が整備されています)。このような事項も記録に残してほしいものです。

⑧行動中テスト

読図、植生を中心に出题されました。事前に大会が行われる山城を地形図やガイドブックでよく研究してください。

⑨ペーパーテスト

「ブロッケン」を「プロッケン」と誤答しているものが多かったのですが、平成26年度『登山部報』No.58のP127の112に「プロッケン」とあるので、正答としました。これは『部報』の印刷ミスだと思われます。正しくは「ブロッケン」です。

⑩パーティーシップマナー

おおむね良好でしたが、1日目風不死岳の下りの鎖場でバラバラになってしまったパーティーがありました。

3 最後に

北海道代表となった旭川東高校(男女)の選手の皆さんは、思う存分力を発揮すると同時に本州の山を楽しんで登ってきてほしいと思います。

1、2年生の選手の皆さんは、来年度の全道大会「長万部岳」「狩場山」でまた会いましょう。

最後の最後に、準備の段階からご尽力いただいた札幌西高校の皆さんに改めてお礼申し上げます。